

2 無性生殖 (P.76-77)

目標：生物のふえ方について、無性生殖の特徴を学習する。

1 生殖とは… (P.76)

生物には自分と同じ種類の (①) をつくり、その個体を (②) はたらきがある。このはたらきを (③) という。

(④) … (⑤) に関係なく、親のからだ (⑥) したり、一部が分かれたりして新しい個体ができるふえ方。

新しい個体の特徴：親と (⑦ 同じ・異なる) 形質 (形や性質のこと) をもつ個体

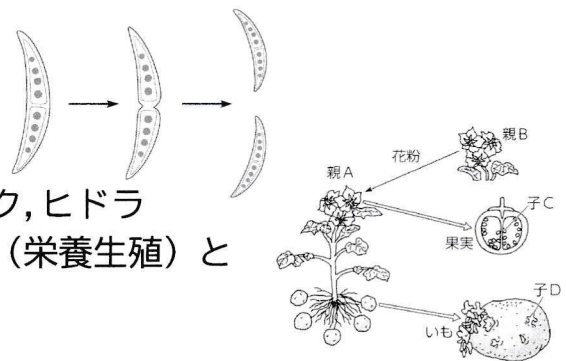
○単細胞生物の無性生殖

例：アメーバ、ミカヅキモ、ゾウリムシなど

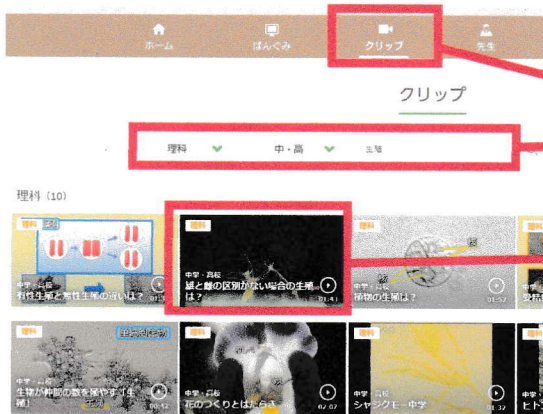
○多細胞生物の無性生殖

例：オランダイチョ、コダカラベンケイ、タケ、サツマイモ、ジャガイモ、イソギンチャク、ヒドラ

*サツマイモやジャガイモのように、無性生殖 (栄養生殖) と有性生殖 (受精) の両方を行う生物もいる。



2NHK for School 理科クリップ「雄と雌の区別がない場合の生殖は？」を見よう。



- ①NHK for School のホームページを開く。
- ②「クリップ」をクリック！
- ③「教科：理科 学年：中・高 キーワード：生殖」と検索する。
- ④「雄と雌の区別がない場合の生殖は？」をクリック!!

メモ

無性生殖の利点と欠点を考えてみよう。(自分の考え)

利点：

欠点：

答え：①新しい個体②ふやす③生殖④無性生殖⑤性⑥変形⑦同じ

(解答例) 簡単にふやすことができる。欠点：ふえすぎてしまう。変化がないから、環境に対応できない場合には全滅してしまう。